

第1回 事業検討・情報共有会

- 認知症本人のやりたいことを実現するために -

令和6年6月発行

昨年度から検討を開始した『社会参加・はたらく』チャレンジ事業の具体的な取り組みが、北区内にある4つの介護サービス事業所で始まりました。

本事業では、各事業所で実施する取り組みの進捗状況や課題について、「事業検討・情報共有会」で共有しながら進めます。今年度は3回の開催を予定しています。6月12日(水)に「第1回事業検討・情報共有会」を開催し、事業のポイントなどを再確認するとともに、認知症本人のやりたいことの実現に向けたアクションプランについて話し合いました。

【第1回事業検討・情報共有会の開催概要】

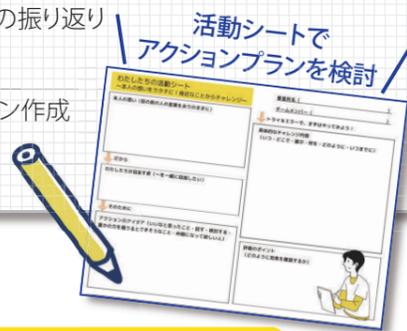
日時 令和6年6月12日(水) 14:00～16:00

場所 北区役所3階 第3会議室

参加者 介護サービス事業所職員さんなど

当日の内容

- 昨年度の事業の振り返り
- 情報共有
- アクションプラン作成



4つの「社会参加・はたらく」チャレンジ事業（※本人の意向を踏まえ、随時見直ししながら進めます）

なかまの家 大杉
(デイサービス)

新聞紙で
エコバッグづくり



そんぼの家 大曾根
(介護付き有料老人ホーム)

…模索中…



デイサービス 暁音
(デイサービス)

新聞紙で
エコバッグづくり他



めいほくの家
(小規模多機能ホーム)

子どもたちとの
交流の場づくり



今年度のスケジュール

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6.1月	2月
第1回 事業検討・ 情報共有会 (6/12)				第2回 事業検討・ 情報共有会 (10/7)			第3回 アイデア ミーティング	
		第1回 検討委員会			第2回 検討委員会			

01 昨年度の事業の振り返り

はじめに、昨年度の事業を振り返りとして、認知症本人の「得意を活かしたい」「誰かの役に立ちたい」「ありがとうと言われたい」などの言葉を実現するため、今年度の「社会参加・はたらく」チャレンジ事業があることを確認しました。

また西部いきいき支援センター分室の「社会参加・はたらく」の事例として、その実現までの経緯を共有しました。



02 情報共有

事業のコーディネーターである(株)DFCパートナーズの 大平美和さんから、「認知症基本法」などの制度や国の動向、他地域における事例、「はたらく」ことの意義、活動の展開プロセスなどについてご説明いただきました。

「はたらく」ことが認知症本人の自信の回復につながる重要なことと改めて確認できました。



03 活動のアクションプランを考えよう!

情報共有後、事業所ごとに4つのチーム（メンバー：介護サービス事業所、いきいき支援センター、北区福祉課）に分かれ、「認知症本人の想い」、「目指す姿」、「アクションのアイデア」、「具体的なチャレンジ内容」などを話し合いました。

最後に「なかまの家 大杉」職員さんから、事業の進捗状況やアクションプランについて情報共有していただきました。

▼チームに分かれて活動シートに沿ってアクションプランを話し合い



次回の予定

第2回事業検討・情報共有会

日時：10月7日(月) 14:00-16:00 場所：名古屋市総合社会福祉会館7階研修室

内容：各プロジェクトの進捗状況や課題・評価の共有、今後の展開の検討など